

大阪府議会だより

発行元: 公明党大阪府議会議員団



〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目1番22号 TEL: 06-6941-0286 FAX: 06-6942-4060

高校生の奨学給付金 公明の修正で国基準に対象を拡大 乳幼児医療費 府の助成を拡充へ 被害拡大の防止へ集中的に取り組み 密集市街地



2月21日から3月24日まで開かれた平成26年2月定例会で、公明党大阪府議会議員団は26年度予算案をはじめ、府政の諸課題に対し府民の立場から議論を進めました。また、2月26日には清水義人議員(幹事長・大阪市東住吉区選出)が代表質問に立ち、高校生への給付型奨学金の対象費目の拡大、乳幼児医療費助成制度の拡充、密集市街地の防災対策などについて府の取り組みを問いました。公明党府議団が質疑し、府の施策に反映された主なものは次の通りです。

①低所得世帯の負担を軽減 奨学給付金

低所得世帯の教育費負担を減らし、すべての意志ある高校生が、安心して教育を受けられるようにするとの本来の目的を踏まえ、奨学給付金の対象となる費目を国の基準まで拡大すべきと訴えました。公明党が提出した対象を広げる予算の修正案が3月24日の本会議で賛成多数により成立しました。

②府・市の役割分担を明確に 乳幼児医療費助成

全国最低レベルの同制度を拡充すべく、市町村と知恵を出して26年度の早期に方向性を示すべきとただしました。府は医療のセーフティネットとしての範囲や、子育て支援施策の充実につながる市町村への支援のあり方などについて26年度の早期に結論を出す考えです。

③目標を立て進捗を管理 密集市街地

火災や倒壊による甚大な被害を少しでも軽くするため、火災が広がるのを防ぐ広い場所の確保や古い住宅の取り壊しを促す補助の拡充など、各年度の目標を立て、進捗状況を管理して進めるべきだと訴えました。府は特に26年度からの4年間で集中的に密集市街地の防災対策に取り組む方針を示しました。



府議会定数条例 一票の格差を縮小 最大2.89倍を1.92倍に 公明、自民などの賛成多数で

大阪府議会の議員定数や選挙区などを定める条例の改正案が3月24日の本会議で公明、自民、民主などの賛成多数で成立しました。

現在の条例はそれまでの定数109人を88人に減らすもので、平成23年5月議会で成立しました。一票の格差を縮小

するとの観点があったため、最大2.2倍から2.89倍に広がりました。

条例を改正したことで死票の多い1人区が48選挙区から31選挙区に17減らせたほか、泉南郡の飛び地状態を解消し、一票の格差を1.92倍に縮小できました。

大阪市内選挙区			堺市内選挙区			府内市町村選挙区			
都島区	1	鶴見区	1	東住吉区	1	寝屋川市	2	河内長野市	1
東成区	1	港区	1	平野区	2	守口市	1	枚方市	4
城東区	2	西区	1	堺区	1	門真市	1	交野市	1
北区	1	中央区	1	北区	2	吹田市	4	大東市・四条畷市	2
福島区・此花区	1	浪速区・天王寺区	1	東区/美原区	1	摂津市	1	東大阪市	5
西淀川区	1	生野区	1	西区	1	豊中市	4	八尾市	3
淀川区	2	西成区・大正区	2	南区	2	池田市	1	岸和田市	2
東淀川区	2	住之江区	1			茨木市	3	柏原市・藤井寺市	1
旭区	1	住吉区	2			箕面市/豊能郡	2	羽曳野市	1
		阿倍野区	1			高槻市/島本町	4	松原市	1
								富田林市/大阪狭山市 南河内郡	2
								泉南市/阪南市 田尻町/岬町	1



うつみ 久子

コスモス通信

(府政報告)



発行者=大阪府議会議員 内海久子

http://www.utsumihisako.com

大東市野崎 1-17-45-107

TEL: 072-812-2487

FAX: 072-812-2894



旧権現川跡地が2車線の道路に!

うつみ府議が、市議時代から取り組んできた実績です!



うつみ府議が、市議時代を含めて数年間、議会で粘り強く訴えてきた、権現川跡地の整備が大きく前進します。

3月18日には、大阪府の寝屋川水系改修工営所長からうつみ府議へ文書にて報告がありました。長期間放置され埋められていた河川が、2車線の道路に生まれ変わります。歩道も整備されますので、地域の皆様の利便性が格段に高まります。

東は、外環状線、西は新設中の深野北御供田線に接続されます。今後は、地元と協議の上、整備を進めてまいります。



四条北小学校の通学路を整備しました!

安全な歩道がなく、危険な状態でしたが、うつみ府議が早急な対応を要請。このほど、市と連携の元、府道大東四条畷線の工事が完了いたしました。四条北小学校に通う多くの子ども達がこの場所を歩いていたので、保護者の皆様も大変喜ばれています。

都市住宅常任委員会副委員長として全力で活動!

府営住宅中層エレベーターの設置が具体的に進みます!

うつみ質問に府が明言

答弁

今後見込まれる事業量は、173団地、約2,700階段となります。これまで、この事業は平成14年度から始め、この12年間で490階段に設置してきましたが、今後は、約2,700階段を平成34年度までの9年間で着工する計画で計画的にスピードアップして取り組みます。

広域緊急交通路沿道建築物耐震促進について

うつみ質問に府が明言

答弁

今年の夏ごろまでを目標に市町村や土木事務所と連携して、すべての建物所有者(大阪住道線沿いも含まれます。)に対して、電話対応や戸別訪問を実施し、その後も繰り返し粘り強く耐震化を働きかけ、平成30年度の耐震化完了に向け全力をあげて取り組みます。

土砂災害対策について(阪奈道路土砂崩落を通して)

うつみ質問に府が明言

質問

区域指定は、「逃げる」施策である、住民の皆様が実際の避難行動を起こす際の重要な情報となる「地区単位のハザードマップ」作成の基本にもなることから、土砂災害のおそれのある区域を、もれなく調査、指定する必要があると考えます。

答弁

今後平成28年度末までに、調査を実施していない残る地域についても調査、指定を進め、府民の皆様と土砂災害リスクの共有を図り、「地区単位のハザードマップ」の作成や、マップを活用した避難訓練など、地域による自主防災活動の支援に努めてまいります。

